

迎春



年頭所感

2016



社会医療法人
仁生会 理事長
細木 秀美

撮影：細木病院 病理診断科部長 山崎義一

明けましておめでとございます。皆様、すがすがしい新年をお迎えになられたこと存じます。今年も申年です。申という字は稲妻を表してあります。手をまっすぐに伸ばすことにつながります。草木が伸び切り、果実をつけて、成熟し硬くなつていくさまを表しております。皆様のご家族やお仕事が大きく成長されてゆく年ではないかと思えます。

今年も一年、東日本大震災後5年を過ぎますが、今でも20万人以上の方々が避難されておられます。昨年は、台風が7つも襲来しましたし、箱根、浅間、桜島など各地で火山が活発でした。一方、北陸新幹線が開通し、今春には函館新幹線が開通が予定されております。私たちの医療の世界でも、医療費はますます増加の一途をたどり、高度医療が進む一方、高齢化の進展により、全国一律の医療ではなく、各都道府県で独自の地域医療構想が提唱されております。病床が全国平均の2倍もある我が高知県は、それに従い、病院医療も2025年に向けて、高度急性期、急性期、回復期、慢性期のベッドの再編が急がれており、今年が実質上最初の年に当たる訳です。このよ

うな厳しい現状を、職員の皆様と手を組んで、乗り切りたいと思っております。

私たちが普段、思わず忘れかけている、「アイウエオ」についてお話ししたいと思えます。アは愛、イは命、ウは運、エは縁、オは恩です。このアイウエオのどれ一つでも欠けると、人生の歯車が狂います。皆様の人生の中で、じっと胸に手を当てて、思い出してください。アイウエオを思わず忘れていたことに気付かれたのではないのでしょうか。アイウエオは、日常の日々の生活上、忘れてはいけない言葉なのですが、忙しい毎日、知らず知らずのうちに、忘れてしまつて暮らしています。年の初めに、思い出して、しっかり原点に戻ってみたいですね。

今年も一年、平穩無事に暮らせることをお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



細木病院
院長



堀見 忠司

明けましておめでとうございます。今年のお正月は、お休みが少なく、皆さんはゆっくり大晦日や新年を楽しむ間もなく、お仕事に出てこられたことでしょう。

さて、新しい年が始まりました。昨年、「イスラム国」などの恐ろしいテロの風が吹き荒れ、「爆買い」や「トリプルスリー」などという流行語大賞が生まれましたね。今年はこのような年になるのでしょうか。

我々を取り巻く医療界でも、今年は大きな変化が予想されます。その理由は、我が国が年々、かつて世界に類を見なかった少子高齢化社会の到来に加えて、驚くべき医療費の高騰に徐々に脅かされているからです。

まず、「診療報酬改定」に当たる年であります。昨年12月に発表された平成28年度診療報酬改定率は、技術料に当たる本体部分を0・49%引き上げる一方で、薬価を1・22%、医療材料を0.11%引き下げるほか、市場拡大再算定による薬価の見直しで0・19%を引き下げ、全体（ネット）で1・03%引き下げると発表されました。引き下げ改定で、過去に苦い経験を持つ多くの医療機関は、この時期はいつも戦々恐々としています。

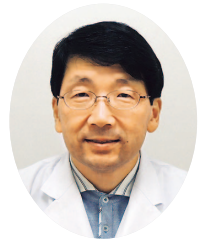
また、病床改編の第6期医療計画では、一昨年度から導入された「病機能情報の報告制度」を受けて、2025年モデル実現に向かって、5

年ごとに実施される医療計画の見直しをリンクさせながら、医療・介護同時改定が実施されるのに加えて、平成30年からスタートする第7期医療計画に向けて、重要な位置づけとなる年度です。我が国の病床数は、平成25年現在で、一般病床が100・6万床、療養病床が34・1万床となっておりますが、2025年までには、病機能は再編・転換され、救命救急や集中治療の「高度急性期」病床が13・0万床、緊急度の高い「急性期病床」が40・1万床、リハビリや在宅復帰に向けた「回復期病床」が37・5万床、3パターンになる現在の療養病床に相当する「慢性期」は28・5万床になることが推計されており、すなわち全体では15万床の減となり、30万人程度の方が在宅医療になることが想定されます。これは全国各地で大きな医療変革が行われることとなりますが、高知県でも約5000床（30・9%）の減となり、中でも療養病床は約2500床が対象になります。今から10～15年先を見越して対応を考えなければなりません。今後、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション、デイサービス、デイケア、グループホームなど在宅ケアを中心とする在宅訪問事業の需要がますます増えることが想定されます。

大きな医療界の流れを察知して、『変化によって進化し、生き延びる』ことを目標にして、この大きな荒波を皆さんと一緒に乗り越えていきたいと思います。

平成 28 年 年頭所感

細木
ユニティ病院
院長



吉川 賢一

明けましておめでとうございます。

皆様、今年もお正月にお雑煮を召し上がったことでしょうか。お雑煮は、日本各地で異なっているようです。私の実家では白味噌仕立て、家内の実家ではすまし仕立てです。インターネット等で調べたところ、中に入れるお餅も、丸餅、角餅などさまざまですが、丸餅が多いようです。また、餅を焼く雑煮と煮る雑煮が見られます。香川県ではあんこが入った丸餅をお雑煮に使ったこともあると聞きました。また、青森県の八戸市は日本を代表する捕鯨基地があったためか、脂ののった鯨の皮を入れるのが特徴。岩手県では「くみ雑煮」と呼ばれ、クルミに砂糖や醤油で味付けしたタレを椀に添え、お雑煮の餅に付けて食べるそうです。宮城県の雑煮は、イクラとハゼが基本とのこと。サケの産地でもある新潟県では、お雑煮にもサケとイクラが入っています。丸餅と茎付きのカブが入っているのが福井県で、カブを用いるのは「株を上げる」という縁起を担ぐため。鳥取県では、正月のお雑煮はぜん

ざいのようです。広島市では牡蠣をはじめ魚介類がたくさん入っています。古くから交易で栄えた長崎では、お雑煮にも山海の幸が盛りだくさんで、具が10品以上入ることも多く、特にブリは欠かせないらしい。北海道と沖縄は、もともと、お雑煮はなかったらしいのですが、現在では、人の交流により、食べる人が増えているようです。お雑煮に入れる緑の野菜も違いがあるようです。三つ葉、ほうれん草、小松菜、ネギなどの野菜を使うことが多いようです。

お雑煮は、小さい頃から食べ慣れたものが一番おいしく感じるのかもしれませんが、でも、せっかくだから、いくつか他の県のおいしいそうなお雑煮も食べてみたいと考えております。「こんなおいしいお雑煮があるよ！」と教えていただければ幸いです。

細木ユニティ病院では、正月1日から3日まで、毎朝お雑煮が出ます。すまし仕立てで、具は干支の蒲鉾、縁起の良い結び三つ葉、生麩、海老と団子、鰹と昆布など、日によって中身は違ってきます。お餅は、残念ながら、喉に詰まらないように、入っていません。

年の初めにおいしいお雑煮を食べられる幸せに感謝しつつ、皆様が今年も元気で過ごせますように！

三愛病院
院長



深田 順一

明けましておめでとございます。
患者さん、ご家族の皆様におかれましては、それぞれのようなお気持ちで元日をお迎えになられたのでしょうか？ 年の初めに当たり、本年こそ皆様のお体の具合が、これまでより少しでもいい方向に向かえばと、心より祈念させていただきますとともに、私もスタッフも、なお一層心を一つにして患者さんとともに病気や障害に立ち向かっていける年にしたいと心新たにしています。どうかよろしくお願いたします。

また、連携医療機関としてお世話になり続けています高度急性期病院の先生方やコメディカルの皆様、救急隊の皆様、そしてまた、各専門医療機関や訪問診療、訪問介護関連の皆様方など、挙げ始めればきりがありません。感じるところも、旧年同様、できればそれ以上のご厚情を本年もお願いたく存じます。もちろん、当院もそれに応えられるよう成長しなくてはなりませんし、本年こそは、来たるべき医療供給環境へのリモデリングも具体化せねばと考えます。昨年末から地域の先生方との間で顔の見える連携を進める場を持つような話も出かかっているようですので、こちらもどうかよろしく。
最後に職員各位、昨年は様子も分からぬまま着任してきた小生を温かく迎えていただき、本当にありがとうございます。私にとって、この年になって一年が再び長く感じられるようになることは夢にも予想しなかった、そんな9か月間でした。そして当院での治療・ケア活動が、患者さんからの訴えがなくても、その状態、思いを先回りして予想し、そこに手を差し伸べるといふ、これも予想を超えた高レベルであることに自信も感じられるようになった今日この頃です。本年は私も頑張つて皆様の前を歩きたいと思っておりますので、この一年、頑張つてやりましょう。

日高クリニック
院長



松本 和博

明けましておめでとございます。
日高クリニックは、平成8年に設立して、今年で創立20年を迎えます。当初は外来を中心に6人で運営していましたが、介護施設を併設し、外来患者さんや施設利用者さん、入所者さんの増加に伴い、現在は総勢43人の大所帯となっております。ところが、一昨年から去年にかけて、いろいろの要因が重なり、すべての部門で協調性の欠如が出現してきました。そこで、尾原事務長、矢野師長、そして私が中心になって、医療、看護、介護にやる気と責任を重視した日高クリニック愛を持つている人材をそろえ、現在もその編成を断行中です。
人口減少、少子高齢化が続く日高村ですが、今後も日高村民のかかりつけ医として、健康管理、相談、一次医療を提供し、在宅医療、介護連携を支援したいと考えています。
話は変わりますが、平成28年は申年であり、私自身、申年の年男です。それも5回目。そう還暦です。干支を5回経験して、長寿を祝い、新たな人生

を歩む儀式をしないといけませんね。赤いちゃんちゃんこはもらいたくないけど、「赤い下着」を送られると「下の世話がサル(申)」となつてうれいかも。申という干支に、動物の猿(サル)を当てはめたため、申年の人は一般に猿的特長を持ち合わせているようにいわれます。申年生まれといわれている人で、最も申年らしい性格を持つのが豊臣秀吉らしい。明るく人付き合いが得意で、頭の回転が早く、考えがまとまれば一気に行動を起こして、世間をあつと言わせる天才肌の持ち主だそうです。だが、抜け目ない、クセモノの素質も持ち合わせているようで、私が少しでも秀吉の側面を持っていれば、日高クリニックの難局も少し上手に乗り越えることができているかもしれません。
最後に、還暦を迎えた医者が、新たな気持ちで日常の診療をしていく心構えを述べます。「自らの治療方針の妥当性を検証する姿勢を持ち続け、また、地域での疾病構造の変化を客観視し、未知の病態の存在について常にアップデートを張っておく」。これが、患者さんに、そして地元で還元できる医療だと思っております。
今年が日高クリニックにとりましても皆様にとりましても良い年でありますように。



山本 憲治

明けましておめでとうございます。昨年は、当院にとって、なかなか厳しい年となりました。外来患者数の減少に歯止めがかからず、医師として、介良の方々を受け入れられているとはいえない現状です。また、「イチゴいちえ」も楽な経営とはいえません。自立型の住宅ですが、認知症を含め、とても自立しているとはいえない利用者さんがほとんどです。状態が悪い時に適切に対応していただけない家族もいます。その中で、少ない職員の頑張りにより、何とかやれています。営業努力もしていますが、補助金のない部屋に入っていたくのは、なかなか大変です。デイケア「いちご学校」、ケアサポートセンター介良を合わせた東部グループ全体の収益も伸びなやみ、苦しい台所です。しかし、昨年4月から、医師会にも加入し、特定健診も始めました。日々の診療でも、少しずつですが、手応えを感じるようになってきています。患者さんの求める薬を

出すクリニックではなく、診察し、十分な説明をし、一緒になって病気と取り組んでいくクリニックを目指していきます。

今年は申年です。私にとっては、生まれた年を含め、6回目の年男を迎えることになりました。おじさんから、おじいさんになったのかな、と思います。ひととおりやって来た人生、医者としてのキャリアが、まさに問われる年となりました。うまくいかないことだらけですが、その中で出た結果が、自分のできること、できたことだと思えます。自分の力を試せる立場にいることを、とても恵まれたことだと感謝しています。その立場に、だらだらとしがみつくなでなく、進退をかけた、この一年に臨みたいと思います。2016年、ほそぎ東部クリニック・グループを、よろしく、お願いいたします。



今年の年男・年女



細木病院
リハビリテーション課
理学療法士
嶋村 徳之

明けましておめでとうございます。昨年の4月に入職して、先輩方からの助言やご指導をいただきながら少しずつ業務に慣れてきました。今年は落ち着きを持ちながら、より良いリハビリを提供できるように努力していきたいと思えます。

私生活では、スポーツが好きなのですが、昨年は体を動かすことが少なく体重も増えてしまいました。今年は何かスポーツを始めようかなと思います。今年も全力で頑張りますのでよろしくお願いたします。



三愛病院
愛3病棟
主任介護福祉士
田村 彩

三愛病院に就職し10年

以上になりました。就職した当初は不安や心配もありましたが、周りの方々に支えられあつという間に月日が流れたように思います。今年は年女ということもあり、磨きをかけ成長していきたいです。この一年も、健康で楽しく、職員皆と笑顔で仕事ができるように頑張っていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。



細木ユニティ病院
作業療法室
作業療法士
津野 知未

明けましておめでとうございます。昨年4月に入職し、部署内外の先輩方にご指導ご指摘をいただきながら毎日学ぶことばかりの日々です。今年には社会人となり初めての年女となりますが、「申」という字は本来、「樹木の果物が熟して固

まっっていく様子」を表しているそうです。なので、年女の今年は、作業療法士として、また細木ユニティ病院の一員として立派に熟していけるよう努力していきたいと思えますので、よろしくお願いたします。

明けましておめでとうございます。私は今年で3回目の年男となります。細木病院に勤務し始めて3年目になります。少しは業務に慣れてきたとはいえ、勉強の毎日です。私生活では昨年長女を授かり、日々成長していく娘の姿を見ながら驚かされることばかりです。今年が飛躍の年になるよう一層の努力をしていきたいと思えますので、よろしくお願いたします。



細木病院
放射線室
診療放射線技師
土居 正典

細木病院

第2回ICLS研修会開催

一昨年、高知県から、各医療機関の当直医はICLS（突然の心停止に出合った時の対処方法）の研修を積極的に受けてくださいとの要請を受けました。細木病院には、ICLSの講師の資格を持つ常勤医が2人（梶中豊人麻酔科部長と安藤徹化学療法・緩和ケア科部長）在籍しています。そのため、院内での研修会の開催が可能です。そこで、昨年5月に第1回のICLS研修会を開催し（じんせい平成27年7月号参照）、今回さらに第2回を昨年11月8日に開催しました。今回は、研修医の安倍秀和先生、猪狩俊介先生、古賀仁先生、田中浩史郎先生、森本侖美先生に

もサポートしていただきました。また、高陵病院（須崎市）の川渕看護師を講師にお招きしました。受講者は、私と白神実診療部長・呼吸器内科部長、中内昌仁消化器内科部長、桃田恵苗看護師、安藤清香看護師、石黒英子看護師の6人でした。ICLS研修会は、実践を中心とした蘇生トレーニングコースです。実際に即したシミュレーション実習を繰り返す。約1日をかけて蘇生のために必要な技術や、蘇生現場でのチーム医療を身に付けます。今回も6人全員無事に、日本救急医学会認定のICLSコース修了証を受領することができました。今後は全職員を対象に、BLS（一次救命処置）研修会を定期的に開催していきたいと考えています。（副院長・救急向上委員会委員長 上地一平）



第2回修了者（前列右から、中内部長、白神部長、上地副院長、石黒看護師、桃田看護師、安藤看護師）



細木病院
南2病棟
看護師
中岡 瑞貴

明けましておめでとうございます。仁生会に就任して今年で3年目となります。当初は右も左も分かりませんでした。素敵な先輩方からアドバイスをいただきながらここまで来ることができました。今年も年女ということ、新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。運動不足なところもありますし、ひっそりと興味のあ

るダンスでも始めてみようかなと。今年も健康で明るく、さらに成長できるように頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひします。

「申（サル）」が去るという意味を表し、「悪いことが去る」や「病が去る」など良いことや幸せがやってくるという年といわれています。いつもハッピーに過ごさせてもらっている私は、幸せ者です。

申年に赤い下着を身につけると元気になるといわれています。さらにパワーアップしたら周りの職員に逃げられそうです（笑）、赤い下着を身につけて皆さんも一緒に元気になる気になりますか？

明けましておめでとうございます。早いもので4度目の干支が回ってきました。居宅介護支援事業所に異動し4年目になります。日々高齢者と関わる中で、50歳目前にして健康寿命を延ばすために、今年は何かスポーツを始め、三日坊主にならないよう運動習慣を身に付けたいと考えています。今年も笑顔あふれる一年でありますように、20周年を迎える日高クリニックを皆で協力し、盛り上げていきたいと思ひます。



細木病院
ホームヘルパーステーション城西
介護福祉士
日浦 美由貴



細木ユニティ病院
栄養管理室
管理栄養士
西尾 由香

明けましておめでとうございます。申年は、

仁生会院内研修旅行 国内最大級夜景！なばなの里とパワースポット伊勢神宮巡り

11月26日～27日の1泊2日で、院内研修旅行に行ってきました。三重県の「三井アウトレットパーク・ジャズドリーム長島」、「なばなの里」、「伊勢神宮」を巡る内容で、13名の仁生会職員に加え、今回は一般の方も4名参加されて、計17名での旅行になりました。

1日目は、朝6時20分に細木病院に集合し、観光バスで一路三重県へと向かいました。途中、高速道路のサービスエリアに寄るたびに、ご当地の美味しいものに舌鼓を打ちながら、流れていく景色と添乗員のお話を楽しみました。三重

県に到着し、最初に向かったのは「三井アウトレットパーク・ジャズドリーム長島」。限られた時間の中で買い物を存分に楽しむため、上着を脱ぎ寒いことも忘れて、走ってお店をまわりました。次を訪れた「なばなの里」では、滅多に見ることのできない大規模なイルミネーションに感動し、皆とたくさん写真を撮りました。公園内にある「ベゴニアガーデン」では、綺麗に咲き揃ったたくさんのベゴニアを見ることができ、花の魅力を堪能しました。その後は宿泊するホテルに向かいましたが、細木理事長の提案で、途中スーパーに立ち寄り、お酒とおつまみを買って、皆で宴会を行いました。旅行の話や普段の仕事について語り合い、とても楽しい時間を過ごすことができました。

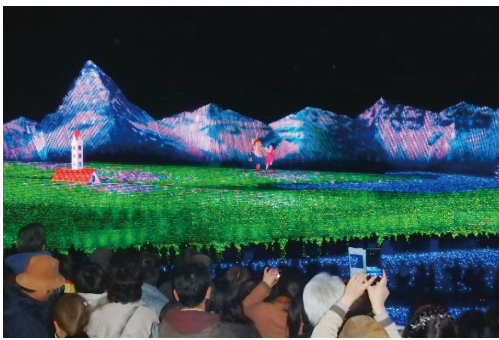
2日目は、今回の旅行のメインである「伊勢神宮」の参拝に向かいました。お天気も良く、神聖な空間の澄んだ空気の中で、身も心も洗われる思いでした。外宮と内宮を巡り、内宮ではお清めをした五十鈴川で行いました。が、今までお清めを川で行うというのをしたことがなかったので、とても新鮮で良い経験となりました。また、偶然この日に皇室関係者がお越ししました。私は、三愛病院に就職して5年目で、研修旅行

への参加は初めてでしたが、自分が想像していたよりもはるか上をいく楽しさで、強く思い出に残るものとなりました。今回参加されていた皆さんに感謝しつつ、仕事を頑張った自分へのご褒美として、今後も研修旅行に参加していきたいと思

います。 (三愛病院医療相談室 山中 牙)

／写真：細木秀美理事長
細木病院脳神経外科部長 栗坂昌宏
山中 牙

光バスで一路三重県へと向かいました。途中、高速道路のサービスエリアに寄るたびに、ご当地の美味しいものに舌鼓を打ちながら、流れていく景色と添乗員のお話を楽しみました。三重



感動のイルミネーション～アルプスの少女ハイジ



光のトンネル～アーチングイルミネーション華回廊



伊勢神宮内宮の宇治橋鳥居の前にて

細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月 2 回ほど、S館 6 階で音楽療法コンサートを開催しています。

無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

今年創立 62 年になる、名前の通り明るく笑顔の絶えない合唱団です。童謡、民謡、ポップス、合唱曲、創作曲など幅広い音楽を 20 代から 70 代の約 60 名のメンバーで歌っています。細木ユニティ病院では平成 12 年から歌っており、今年で 17 回目になります。

2月20日(土) 午後2時
出演：高知コーラス合衆団

第352回 ◆ あたまたかコーラス宅急便

大阪生まれ高知育ち。大学在学中にリリースした自主制作アルバムがきっかけで高知新聞に「異色の理系シンガーソングライター」と紹介され、昨年も「方丈の記」にて取り上げられました。映画の挿入歌やCM曲にも携わり、オリジナルCDもリリース。FM高知で「樹奈の Music Library」放送中。

2月5日(金) 午後2時
出演：樹奈

第351回 ◆ シンガーソングライター 樹奈のピアノ弾き語りコンサート

高知市の地域交流サービスは、高齢者が地域で集い、気軽に交流することで、閉じこもりを

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミニ情報

『地域交流デイサービス』について



防ぎ、お互いに助け合いながら、住み慣れた家庭や地域で豊かな生活を送れるよう、高齢者自身の手による支援ネットワークづくりを促進することを目的としています。高知市から委託を受けた高知市老人クラブ連合会と春野町社会福祉協議会が、各地域の推進員を中心に、月1〜2回程度、地域にある公民館や集会所、小学校などで、レクリエーションや季節行事、健康講話を開催しています。利用にあたっては特に申請の必要はなく、推進員の代表者への連絡などで参加することができます。また、利用料は原則無料ですが、昼食会や行事などの材料費は実費を必要とする場合があります。

詳しい内容等につきましては、細木病院患者サポート室または高知市高齢者支援課、地域高齢者支援センターまでお問い合わせください。

(地域連携推進センター) 患者サポート室長 辻美知子

あなたとあゆむ

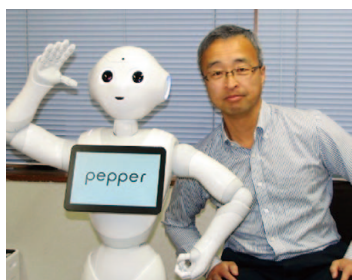
積善会ニュース NO.89

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F
TEL : 088-873-0146
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下
088-822-7211(代)/内線1610
三愛病院 1階
088-845-5291(代)/内線260



明けましておめでとうございます。私にとりましては、2014年12月の社長交代よりあっという間の1年でした。昨年は今までの私たちの活動に加え、新たにIT関連のサービスおよびロボットビジネスを立ち上げた年となりました。仁生会様にはPepperをご紹介させていただき、特に細木病院様ではご好評をいただき、マスコミでもご紹介いただいたことは、皆様もテレビ、新聞等でご覧いただけたかと思えます。2016年は、これらのハイテク分野のビジネスをより強化し、今まで以上に仁生会様のコスト削減、サービスの向上に貢献していきたいと考えています。もちろん、今まで仁生会の皆様にご提供しておりましたさまざまなサービスもそのまま継続いたします。今まで同様、どのようなことでも結構ですので、「お困りごと」がございましたら、何なりと弊社社員に申し付けいただきたく存じます。今年が皆様にとりまして、素晴らしい1年となることをご祈念しております。

有限会社積善会 代表取締役 柳井 康伸

ヒーリングドール お歌とお話大好き『うたこちゃん』



『うたこちゃん』は、お歌とお話であなたを癒すヒーリングパートナーシリーズのお友達です。懐かしい童謡や童話を全100種類、いつでも好きな時に聞かせてくれます。

8,424 円(税込)

(有)積善会がお届けするインターネットショップ! Zenショップ が新しくなりました。

新製品も続々登場!!
ぜひ一度ご覧ください。

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>





本年もよろしく
お願い申し上げます

仁生会 本部

理事長 細木 秀美
本部長 細木 鷹子
経営管理部長 門脇 弘幸
人事部長 金子 忠司

細木病院

院長 堀見 忠司
名譽副院長 松田 勇蔵
// 北岡 和雄
// 小林 誠
副院長 上地 一平
副院長・糖尿病・内分泌
内科部長・地域連携推進
センター長 西岡 達矢
診療部長・呼吸器内科部長 白神 実



細木病院 診療部

消化器内科部長 中内 昌仁
循環器内科部長 山中 伸悟
総合診療科部長・糖尿病センター長 中村 寿宏
健康管理センター部長 森下 延真

健康診断科部長 熊谷 千鶴
総診療科副部長 弘瀬 祥子
内科長 高橋 佳伸
消化器内科長 原 義和
内科副科長 松村 智子
内科医師 中山 隼
// 尾崎 信二
外科部長 安藤 徹
化学療法・緩和ケア科部長 栗坂 昌宏
脳神経外科部長 昌宏



細木病院

リハビリ・整形外科部長 山川 晴吾
整形外科副科長 杉村 夏樹
小児科部長 新井 淳一
小児科副科長 細川 卓利
神経小児科部長 福井 真澄
小児科医師 島崎 真弓
耳鼻咽喉科部長 榎 敬蔵
麻酔科部長 島中 豊人
放射線科部長 耕崎 志乃
病理診断科部長 山崎 義一
事務部長 宮地 耕一郎
事務副部長 都司 博直
看護部部長 松澤 富子
看護部副部長 豊田 邦江
医療技術部長 田中 照夫
在宅部長 廣井 三紀

細木ユニティ病院
院長 吉川 賢一
副院長・内科部長 池田 久男
顧問 松田 幸彦



細木ユニティ病院

診療部長 仁尾 裕
医局長・精神科部長 弘井 正
神経科部長 吉岡 隆興
心療内科部長 岡村 龍一郎
事務部長 豊島 正
看護部部長 岡本 真知子
看護部副部長 岡崎 郁子
三愛病院
院長 深田 順一
副院長 坂本 賢司
医局長小児科長 橋詰 稔
内科長 中川 治
// 篠原 雅幸
// 小野寺 真智
内科医師 上村 千鶴子
// 上岡 悦子
// 岩井 智郎
放射線科部長 西岡 利恵
耳鼻咽喉科医師 三好 みちよ
形成外科医師 桐生 剛
事務部長 桐生 剛

三愛病院
院長 深田 順一
副院長 坂本 賢司
医局長小児科長 橋詰 稔
内科長 中川 治
// 篠原 雅幸
// 小野寺 真智
内科医師 上村 千鶴子
// 上岡 悦子
// 岩井 智郎
放射線科部長 西岡 利恵
耳鼻咽喉科医師 三好 みちよ
形成外科医師 桐生 剛
事務部長 桐生 剛



三愛病院

看護部長 元吉ひとみ
副看護部長・あうん高知副施設長 小松 雅理
老人保健施設あうん高知 施設長 細木 秀美
日高クリニック 院長 松本 和博
事務部長 尾原 団
グループホームひだかの里 施設長・看護師長 矢野 道恵

ほそぎ東部クリニック
院長 山本 憲治
事務部長 竹垣 康幸
看護部長 上西 恵美子
代表取締役 柳井 康伸
ほか職員一同



日高クリニック



ほそぎ東部クリニック

